

CHARTERED



福岡中央 FUKUOKA CHUO

福岡中央ワイズメンズクラブ ブリテン 2014年9月1日発行 URL <http://www.fukuchu-vs.com/>

2014. 9

会長 主題

若者とともに働く、未来へ
Work with Youth for the Future.



会長 伊藤 和行

今月の聖句

イエスはたとえを用いて彼らに多くのことを語られた。「種を蒔く人が種蒔きに出て行った。蒔いている間に、ある種は道端に落ち、鳥が来て食べてしまった。ほかの種は、石だらけで土のない所に落ち、そこは土が浅いのですぐ芽を出した。しかし、日が昇ると焼けて、根がないために枯れてしまった。ほかの種は茨の間に落ち、茨が伸びてそれをふさいでしまった。ところが、ほかの種は、良い土地に落ち、実を結んで、あるものは百倍、あるものは六十倍、あるものは三十倍にもなった。耳のある者は聞きなさい。」
(マタイによる福音書第13章3-9節)

解説：ミレーの「種を蒔く人」という有名な絵がありますが、聖書時代はあの絵のように、種を入れた袋を肩からさげ、袋の中にある種を一つかみ取っては、それをまるで空に向かって投げだすように種をまき散らしていました。ですから、この譬えは、集まった群衆には実生活に基づいたお話で、聞く耳を持つ者にとっては、非常に分かりやすい譬えであった訳です。イエスは、そういう民衆に対して、農夫が蒔く種はすべてが実ることはなく、多くの無駄があるであろう。それでも豊かな収穫が与えられるように、神の国も、初めは見込みがなさそうに思え、失敗や挫折があっても、最後は圧倒的な成果を伴って出現するであろうという終末論的な譬えであると理解できます。

9月の西日本区活動テーマは「Menettes」です。「各クラブでメンがメネットの参加を促せる例会の企画を。メネットは是非例会に参加し、ワイズの醍醐味を味わってください」となっています。今月、新しいメネットが誕生します。坂本メネットです。クラブ全員で坂本メン、メネットの入会を歓迎します。坂本ワイズは中国、内モンゴル・オルドスの岩塩や岩塩と福岡県産ラー麦を使用した至福麺ラーメン等の販売を通じて、2004年から現地の砂漠緑化の活動をされています。以前、福岡中央クラブにも砂漠緑化の活動に携わったメンバーがありました。私が入会した時代ですから30年以上も昔の話です。杉山龍丸さんです。祖父は政財界のフィクサーともいわれた杉山茂丸、父は作家の夢野久作です。戦後、3万坪の農地を売り、インドの砂漠緑化の費用にあてた、と聞いていました。あまり緑化運動について語られた記憶は残っていませんが、夢野久作のファンが東京から尋ねてきた、とうれしそうに話されたことが印象に残っています。

7月例会に続いて9月例会でも入会式を行うことが出来ました。近年まれにみることですが1年以上もの時をかけて準備がなされました。この勢いを持続します。10月例会はEMC例会（音楽の夕べ）です。50名以上上入る部屋を確保しました。メンバー1人1人がワイズメンが集う喜びを共有しようではありませんか。

9月の予定 PLAN OF SEPTEMBER

第1例会：9月11日(木)
19:00~21:00
会 場：ホテルセントラーザ博多
☎092-451-0111
内 容：卓話『TPPについて』木下俊之氏
ドライバー 中村ワイズ
入会式 坂本毅氏
田中寛氏 卒寿お祝い
第2例会：9月25日(木)
18:30~20:30
会 場：福岡YMCA 天神校
☎092-781-7410
九州部会 9月28日(日) 天草

8月のデータ DATA OF AUGUST

●8月在籍者：	16人	第1例会	第2例会
メンバー	13名	8名	
メネット	4名	2名	
ゲスト	2名	-	
ビジター	0名	0名	

●8月出席率： 93. 3%

8月21日(木) 第1例会
8月28日(木) 第2例会

今までのファンドの状況

FUND	ファンド
8月 第1例会	0円
第2例会	0円
累 計	15, 000円

福岡中央ワイズメンズクラブの
ブリテンは再生紙を使っています！
SAVE THE EARTH!

国際会長主題 Isaac Palathinkal (India) "Talk Less, Do More" 「言葉より行動を」
アジア地域会員主題 岡野 泰和 (大阪土佐堀) "Start Future Now" 「未来を始めよう、今すぐに」
西日本区理事主題 松本 武彦 (大阪西) 「響き合い、ともに歩む」 "To walk together, echoing each other"
九州部部長主題 亀浦 正行 (熊本にし) 「あなたからわたしへ わたしからあなたへ」
"Y's sprit, from you to me and from me to you for generations!"

CLUB OFFICE

福岡市城南区七隈 1-10-10 092-831-1771

1-10-10, Nanakuma Jyonan-ku, Fukuoka city 814-0133 JAPAN

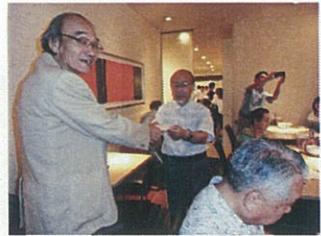
8月第一例会(納涼ビアガーデンパーティー)報告

ドライバー 壱岐 裕志



8月例会は、「会員啓発例会」と称して、会場をホテルセントラザ博多屋上のビアガーデンとしました。

要は、大いに飲んで語り合う、そして楽しむというのが本音でありました。季節柄、予想していた雨に遭い、開始と共に屋上から地下の広間に移動した



は出鼻を挫かれた思いがいたしました。それでもメン9名、メネット2名、ゲスト7名、計18名の参加で大いに盛り上がり、楽しい例会となりました。会は、

場所が場所だけに、開会点鐘、ワイズソング、今月の聖句、祈祷は、ドライバーがすでに代行して済ま

せて、会長挨拶をもって始まりました。8月の例会の特徴は、亀浦正行九州部長と亀浦尚子メネット主査が来訪され、それぞれご挨拶を頂いたことではないかと思います。九州部長の例会訪問がアルコール例会とは前代未聞のことではないかと恐れ入ったり、喝采を送ったりと賑やかでした。その中にあって、九州部長の九州ワイズへの決意と天草で行われる2014年度九州部会への熱心な勧誘には感動しました。また、ゲストにYMCA職員の三村吉郎・佐々木晋両名が初参加。また、遅れて青宏子チャリティーラン代表も参加して、ご挨拶を頂きました。



第2例会報告 8月28日

出席者 伊藤、壹岐、井上、井上圭子、大浦、草場、中村、中村順子、堀田、松井

報告・決定事項

- ・9月例会 11日(木) ドライバー 中村 次郎さん
内容 卓話「TPPについて」環太平洋戦略的経済連携協定
卓話者 木下 敏之さん 福岡大学経済学部教授 元佐賀市長
入会式 坂本 賀さん
えすぺらんさ支援金贈呈式
田中 寛さん卒寿のお祝い
- ・10月例会 9日(木) ドライバー 草場 修二さん
内容 EMC例会(音楽の夕べ)3階の部屋手配
呉市在住の志鷹美紗さんのトークを交えて1時間の演奏
食事は洋食 ピアノレンタル料 控室 謝礼 交通費 花束など
- ・ブリテン9月号 聖句と解説 8月例会報告 記念日・誕生日コメント(大浦・齊藤・田中夫妻・小田夫妻)
- ・九州部会 9月28日(日) 天草 締切8月28日
登録費 メン 10,000円 メネット 8,000円
アクセス 熊本駅西口より送迎バス 行き 11:00 帰り 19:30
- ・ジャガイモ・カボチャの注文
9月5日 匠社寺建築社へ搬入
消費税引き上げに伴い、ジャガイモ 1900円 カボチャ 2500円に値上げ
数の変更は禁止、代金は会員がまとめて支払う、3日以内に引き取る
- ・ファンド振込報告 8/6 10,000円 残 267,771円

■ 第5回福岡YMCAインターナショナル・チャリティーラン開催！

11月16日(日) 第5回福岡YMCAインターナショナル・チャリティーランを開催します。チャリティーランは、共に生きる社会の実現のために、参加者同士の交流を図ると同時に、参加収益金を、全国のYMCAで展開されている障がい者や障がい児を対象としたプログラム実施の支援に役立てます。福岡中央ワイズメンズクラブからは、堀田三重子さん、松井カツ子さん、井上ご夫妻がチャリティーラン実行委員として参加していただいている。

【第5回福岡YMCAインターナショナル・チャリティーラン】

●日 時：2014年11月16日(日) 午前10時～午後1時
(雨天時は時間を変更しておこないます。)

●会 場：大濠公園周回コース（開閉会式：舞鶴公園西広場）

●参加者数：250名（参加者195名、運営ボランティア55名）

●内 容：1チーム5名のリレー形式で、1名が上記会場コース1周2km、5名で計10kmを走ります。
順位は、宣言タイム制（事前に申告した所要時間に近いチームから上位とする）で決定します。
また、別に個人のタイムレースおよび家族単位でのパフォーマンス部門も実施します。

●参 加 費：
 ①宣言タイムレース 大人 3,000円
 中・高校生 1,500円
 小学生 1,000円
 ②個人タイムレース 大人 3,000円
 中・高校生 1,500円
 ③ファミリーパフォーマンス 1家族(2名以上) 5,000円

多くのランナーとしての参加者や企業への協賛の呼びかけにご協力いただきますよう、どうぞよろしくお願いいたします！

■ 日本へ短期遊学～サマーコース実施！

7月末から8月上旬にかけての2週間、台湾・韓国・香港から26名の若者が福岡に来日。午前中は日本語勉強、午後は文化体験のアクティビティを実施するYMCAサマーコースに参加しました。

そば打ち体験や食品サンプル作りなど、日本ならではのアクティビティを体験した学生は口をそろえて「楽しい！」「すごい！」の連発。今回浴衣着付けに関しては、やむなく中止の判断をしましたが、次回こそはぜひ、浴衣を着て大濠花火大会に行きたいと思います！

フェアウエルパーティーでは「しゃれとんしやあー」(博多弁でオシャレだねえ)という言葉が入った福岡YMCAオリジナルTシャツを着て記念撮影。手巻き寿司パーティーを実施しました。次回はホームステイ・ホームビジットプログラムを企画しています。その時はどうぞワイズの皆様にもご協力いただければと思います！



HAPPY BIRTHDAY OUR FRIENDS!!

大浦 敬規 OURA Keiki 9月7日生まれ おめでとうございます！

65歳になりました。思う事はあれども、ひとつひとつは些細な事、で言葉の端にもかかりません。若い頃なら大きな出来事も「さほど」気にならなくなっていました。それが「ものぐさになる」という事でしょうか？

齊藤 啓彦 SAITO Akihiko 9月20日生まれ おめでとうございます！

今年9月で70歳になります。70歳の誕生日をケニアで迎えます。この歳まで、かわいい学生たちに講義やその他で接することができ幸せに感じています。これまでの経験をしっかりと学生に伝え、彼らのよき人生と、ケニアの国の発展のためにしっかりと学び働くように伝えます。学生はどの国も同じです。よく勉強する学生、そうでもない学生と様々ですが、「この講義に出会ってよかったです」という授業との出会いをさせていただく覚悟です。皆さんもお元気でお過ごしください。

HAPPY ANNIVERSARY!!

田中 寛・和子 Hiroshi ♥ Kazuko 9月 6日 39年！！ おめでとうございます！

今年も結婚記念日を元気に迎えられ喜んでいます。昨年から二人共に患っていましたのに、神の恵みにより生きされていることを感謝しております。また、皆さまの励ましとお支えに厚く御礼申し上げます。

小田 哲也・知恵美 Tetsuya ♥ Chiemi 9月22日 7年！ おめでとうございます！

今年結婚7年目です。今年は久しぶりにメキシコに貧乏旅行に行きました！ 今度は、どこでなにをしようかな？？ 二人で楽しんでいきたいと思います。

ワイズメンズクラブ国際協会西日本区

理事通信[VOL. 3] 2014年9月1日発行



2014~2015 西日本区理事 松本 武彦

主題「響き合い、ともに歩む」

"To walk together, echoing each other."

こころ豊かにワイズ活動を展開し、
ワイズスピリットをつないでゆく

8月7日から10日までの4日間、インド南部のチェンナイで国際大会が開催され、これに出席しました。この国際大会への参加登録者数は、アジア106名（うち、日本は東西合わせて55名）、アフリカ24名、カナダ・カリブ2名、ヨーロッパ40名、韓国21名、アメリカ4名、ラテンアメリカ2名、南太平洋5名、開催国インド149名の合計353名でした。ワイズ発祥の地アメリカからの参加者が極めて少ないのは驚きであり、考えさせられることもありました。同時開催のインターナショナルユースコンボケーション（IYC）への参加者数は、日本のユース10名を含む、約100名でした。

チェンナイは、インド4番目の大都市とされていますが、高い建物が少なく、イギリス植民地当時の兵舎跡地が広々とした公園になっていることなどもあって緑が豊かでゆったりとした街です。

インド国際大会のスピーチ部門では、インドYMCA評議会議長が来賓祝辞においてYMCAとワイズメンズクラブの相互扶助がこれからYMCA活動においても大事なことであり互いに意識することが必要であることを語り、7月1日に就任したばかりのアイザック・パラシンカル（Isaac Palathinkal）氏が2014-2015国際会長としての想

いと活動方針について、主題を「言葉より行動を（Talk Less, Do More）！」とし、スローガンを「今すぐやろう（Do it Now）！」

として熱く語っておられました（国際会長スピーチの詳細は本書末尾に掲載）。晚餐会までのプログラムでも、また、晚餐会でも、音楽や踊りが入る場面があり、国際大会を楽しくて豊かなものにしていました。最終日の早天礼拝で女性による祈りと楽しいゴスペルソングが入り、会場の人たちがこのゴスペルソングに合わせて体をゆすり合唱していたのには本当に驚きました。このような楽しくて心豊かな早天礼拝もあったのですね。

来年（2015年）の夏、西日本区のホストで京都においてアジア地域大会を持ちます。インド国際大会の晚餐会では、ホスト実行委員会（HCC）委員長の森田美都子ワイズ（京都パレス）をリーダーとして日本人参加者全員が檀上に上がり、アジア地域大会への参加を呼びかける賑やかなアピールをしました。

いよいよ、西日本区9つの部で部会が開催されます。9月はメネット強調月間です。各部でメネットの集まり（メネットアワー）が企画されています。ワイズのみなさまもこれに参加しましょう。部会でワイズやメネットのみなさまにお会いできることを楽しみにしています。

「平成26年8月豪雨」は、各地で大きな災害を発生させました。被災された方々の痛みに心から思いを寄せたいと思います。みなさま、今後とも、十分にお気を付け下さい。

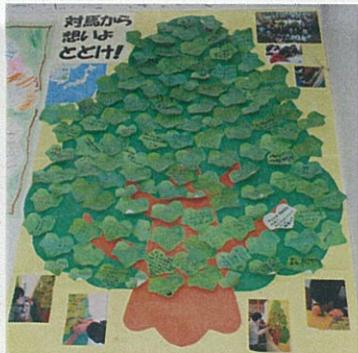
壹岐ワイズの連載5回目
今月も楽しみましょう！

東日本大震災被災地を訪ねる 4 11月25日—29日

壹岐 裕志

ワークショップ「ひまわり」は気仙沼市にある障がい者就労支援施設です。震災の時、使用開始寸前だった新しい建物が火災で全焼してしまいました。被災した障がいの方々の自立した生活を支えるための支援が広まっています。再建された施設を訪問しました。気仙沼の廻をプリントした「クリアファイル」を作成し

て発送の準備をしていました。別な部屋では、クリスマスプレゼントのクッキーの袋詰めの作業が行われていました。顔なじみの山本兄は親しく声をかけていました。



スタッフが新製品のお菓子の試作中

厳原の聖ヨハネ教会からの励しの便り



社会福祉法人洗心会ワークショップ「ひまわり」の支援課長梶原良さんと懇談する同伴の李司祭、「だいじに・東北」支援室の福澤眞紀子姉、案内役の山本尚生兄。再建された仮住いの狭い部屋で試供品がつくられていた。施設を後にして気仙沼市街地から海岸へ再び車を走らせると、まだ再建されていない空き地が虛しく広がっていた。

